

下田教育旅行

須崎

S U Z A K I

伊豆の民宿発祥の地、また御用邸のある地として知られる須崎地区は、豊かな漁場に恵まれた漁師町です。冬には岬一面に可憐な水仙が咲き競い、景勝地として知られる爪木崎は、貴重な植物の宝庫でもあります。波穏やかでプライベートビーチ的な感覚で楽しんでいただける「九十浜海水浴場」、千畳敷で磯遊びに最適な「恵比寿島」など、自然豊かな地域です。



九十浜海水浴場



恵比寿島

須崎の

食

いけんだ煮味噌は海の幸がたっぷり入った漁師鍋です。味噌は共同で地味噌作りをしています。須崎で採れた天草からところてんを作ります。ウツボを干物にして食べます。



いけんだ煮味噌



天草



うつぼの干物

下田豆知識「世界に誇ろう!! 下田はワカメとヒジキのふるさとだ!!」

1852年、ペリーが黒船に乗って下田にやってきた。その時に日本の生物調査のためにたくさんの動植物が持ち帰られた。その中に下田のワカメとヒジキも入っていたんだ。そのワカメとヒジキを標本にして「ワカメ」「ヒジキ」という学名がついて、原産地は下田となっているんだ。だから、下田はワカメとヒジキのふるさとなんだよ。

須崎の

行事

旧暦6月15日

すぎつしまじんじゃれたいさい
須崎津島神社例大祭

260年以上続く由緒ある祭りです。クライマックスには道具、神輿を担いだまま海の中に入っていきます。「荒祭り」として有名です。

10月15日

秋祭り（文化芸能祭）

1月14日

小正月にどんと焼き



須崎の

民話

『お松のえご』

親孝行で美しい娘お松が大きなタコの足を毎日とってききましたが、ある日タコの足を取りに行ったきり戻ってこなくなった。それ以来、その場所を「お松のえご」と呼ぶようになったとき。

磯の岩と岩の間の深みをこの地では「えご」といいます。



須崎の

史跡

すぎきごばんしょあと
須崎御番所跡

江戸時代の初め、江戸と大坂を行き来する船を見張るために御番所（海の関所）が置かれました。当時は船が交通の主な手段だったので、下田は大変にぎわっていました。

すぎきおだいばあと
須崎御台場跡

江戸時代の末期、国防のため須崎に大砲が配備されました。



須崎の

知恵

漁業者は自然の海が仕事場ですから、自分の命を守るため天気（風の吹き方）などに詳しい。

江戸時代から貝、ワカメ、天草、のりなど解禁日は「ふれつぎ」という制度があり、家から家に伝言ゲームのように伝える。

